

梅毒

千葉県の2016年1～24週の梅毒の届出数は55例となった。過去5年の同時期と比較し届出数が多く、前年同時期の2015年1～24週の届出数24例の2.3倍となっている(図1)。そのため2016年1～24週に届出された55例についてまとめた(図2)。

図1 2011年～2016年24週の千葉県の梅毒累積届出数 327例

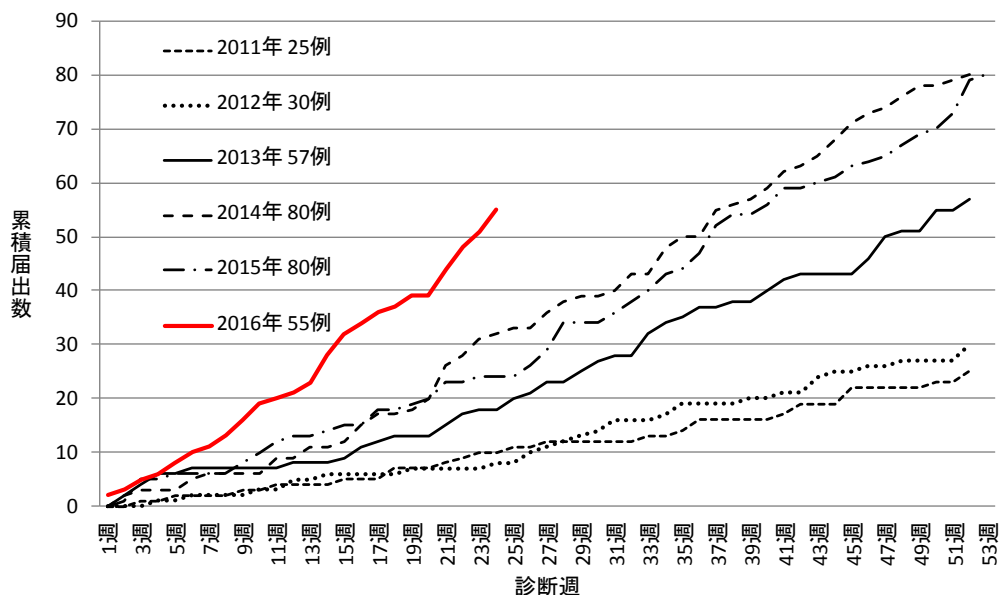
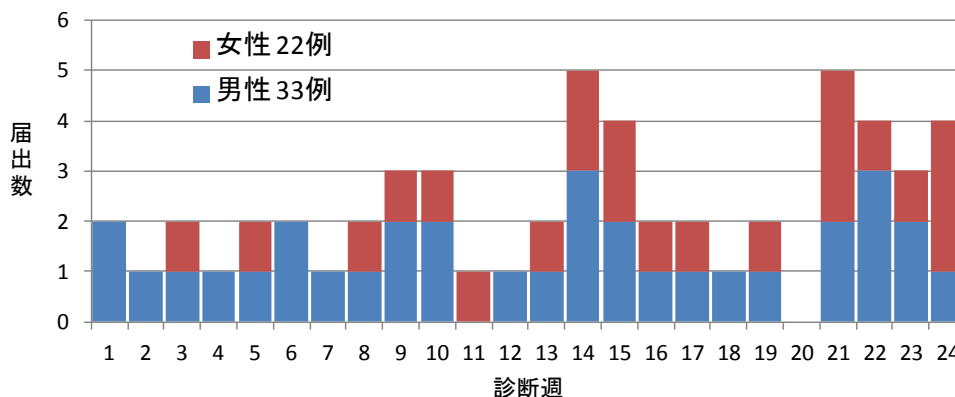


図2 2016年1～24週千葉県の梅毒 性別届出数 55例



保健所別では、千葉市14例、柏市8例、松戸6例、船橋市6例、市川5例、習志野5例、印旛3例、夷隅2例、市原2例、香取1例、海匝1例、君津1例、安房1例であった。

性別では、男性33例(60.0%)、女性22例(40.0%)であった。

年齢群別では、男性は20代～40代が22例で66.7%を占め、女性は20代が11例で50.0%を占めた。

病型別では、男性は早期顕症梅毒(I期)18例(54.5%)、無症候(無症状病原体保有者)10例(30.3%)、早期顕症梅毒(II期)4例(12.1%)、晩期顕症梅毒1例(3.0%)で、女性は早期顕症梅毒(II期)13例(59.1%)、無症候(無症状病原体保有者)6例(27.3%)、早期顕症梅毒(I期)2例(9.1%)、晩期顕症梅毒1例(4.5%)であった。

感染原因・感染経路として推定または確定されたのは、男性は性的接触(性交)19例(57.6%)、性的接触(異性間)17例(51.5%)、性的接触(不明)8例(24.2%)、性的接触(同性間)7例(21.2%)が多く、女性は性的接触(性交)17例(77.3%)、性的接触(異性間)14例(63.6%)が多かった(複数報告あり)。